
日本経済展望

2017年12月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆トピックス	p. 7
◆見通し	
経済	p. 8
物価、金融政策、金利	p. 9
◆内外市場データ	p. 10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	安井 洋輔	(Tel: 03-6833-6334	Mail: yasui.yosuke@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
トピックス	村瀬 拓人		
金利	根本 寛之	(Tel: 03-6833-8913	Mail: nemoto.hiroyuki@jri.co.jp)
ファンダメンタルズ（現状分析）	佐藤 聡一郎	(Tel: 03-6833-6255	Mail: sato.tp28222@jri.co.jp)

本資料は2017年12月1日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

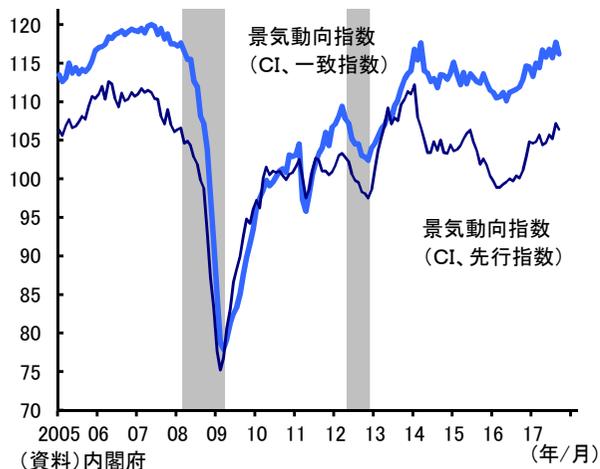
本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。

概況：景気は緩やかに持ち直し

景気

一致指数は、投資財や生産財が減少したことを受け、2ヵ月ぶりに前月比低下

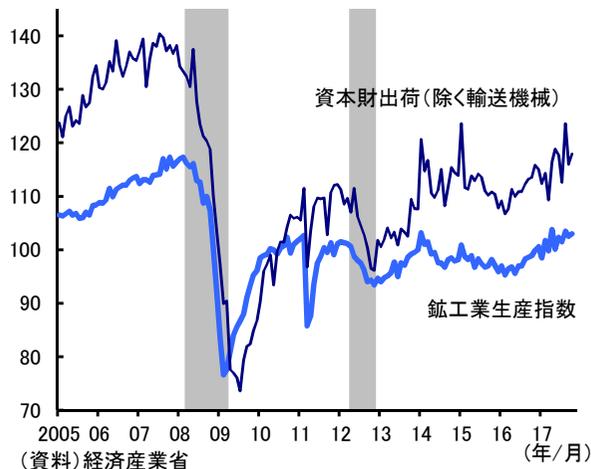
(2010年=100)



企業

生産、資本財出荷ともに振れを伴いながらも増加基調

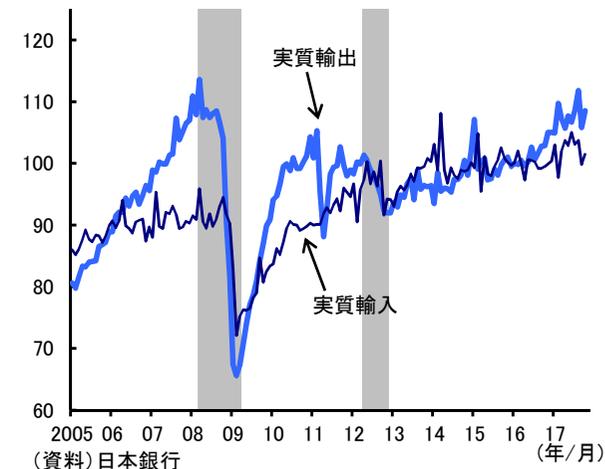
(2010年=100)



外需

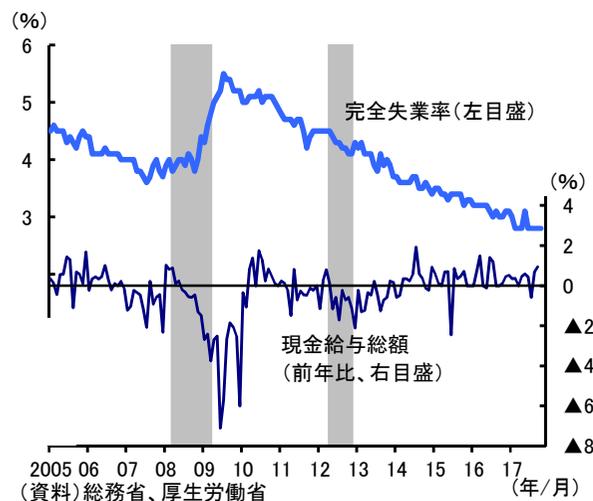
輸出はアジア向けなどで増加基調
輸入は2ヵ月ぶりに増加

(2015年=100)



雇用所得

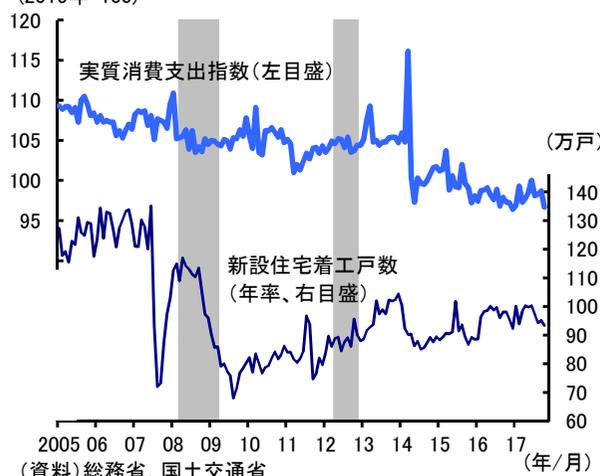
失業率は低水準で推移
名目賃金は小幅プラス圏で推移



家計

消費は緩やかな回復基調
住宅着工は底堅い動き

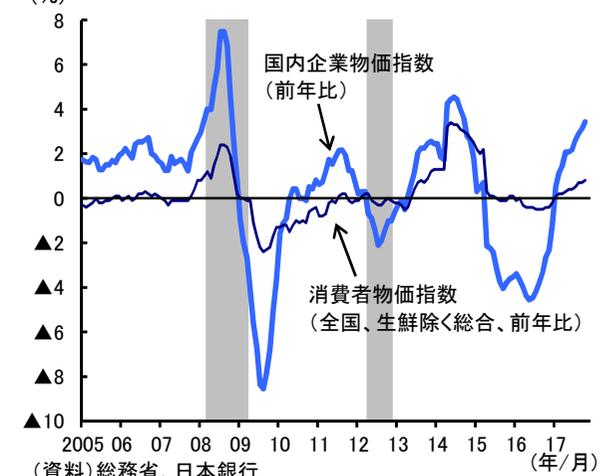
(2015年=100)



物価

原油価格の上昇を受け、国内企業物価、消費者物価ともに上昇

(%)



※シャドー部は景気後退期

企業部門で生産が増加する一方、家計部門も緩やかに回復

◆景気は総じて緩やかに持ち直し

7～9月期の実質GDPは前期比年率+1.4%と、7四半期連続のプラス成長。需要項目別にみると、個人消費は4～6月期の大幅増の反動に加え、夏場の天候不順によるサービス消費の減少から、7四半期ぶりのマイナスとなったものの、外需の大幅なプラスが成長をけん引。

輸出を地域別にみると、足許でハリケーンの影響を主因に米国向けの増勢が一服したものの、中国を中心としたアジア向けが、電子部品関連を中心に増加基調。

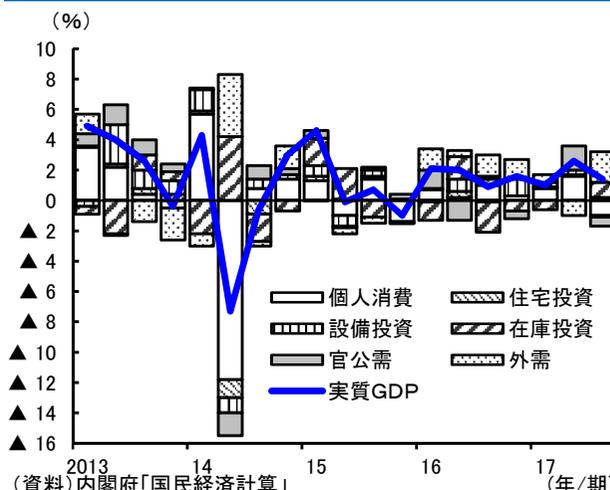
◆企業部門は生産の増加基調に変化なし

企業活動をみると、10月の鉱工業生産指数は、2ヵ月ぶりに前月比上昇。一部自動車メーカーの出荷停止による下振れはあったものの、電気機械や自動車部品を中心に生産が回復。11月の生産見通し（経済産業省先行き試算値）は、同▲0.1%と小幅減産の見通しながら、12月以降は、企業の設備投資意欲の高まりや輸出増加を背景に増産傾向が続く見通し。

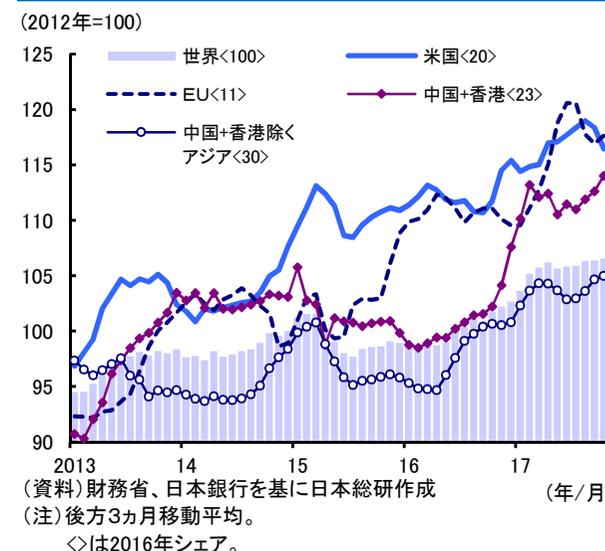
◆家計部門は緩やかな回復基調

雇用情勢をみると、景気の回復が続くなか、雇用者数の増加が続いており、失業率も低水準で推移。有効求人倍率も1.54倍と1974年1月以来の高水準。雇用所得環境の改善などを背景に、個人消費も緩やかな回復基調を維持。

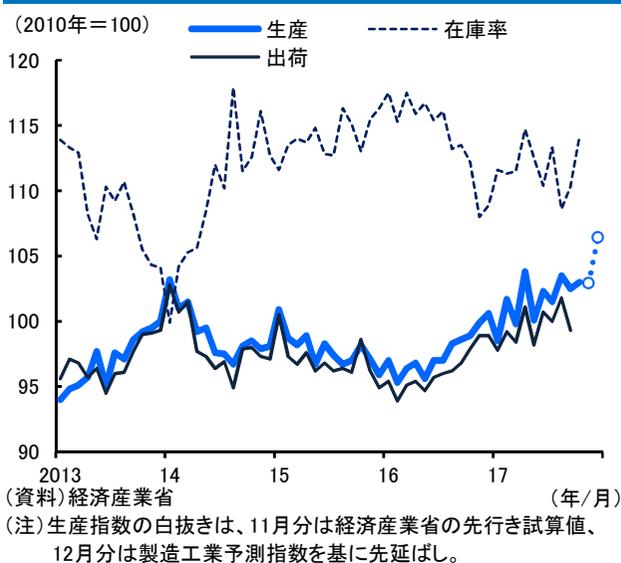
実質GDP成長率(前期比年率)



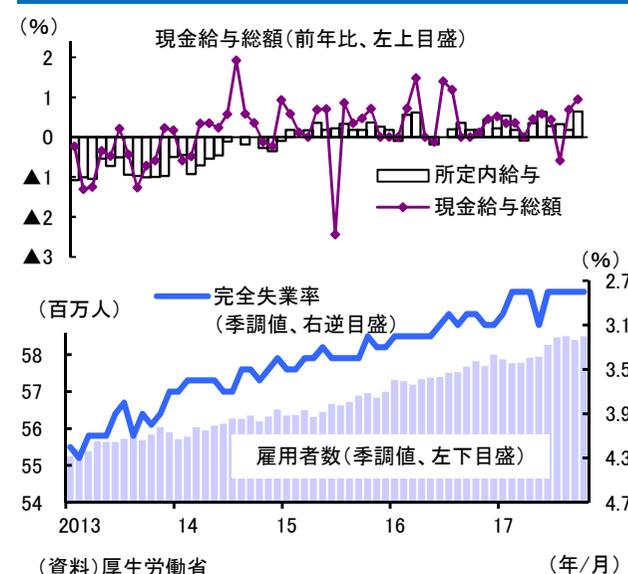
実質輸出(季調値)



鉱工業指数(季調値)



雇用・所得関連指標



輸出は緩やかに持ち直し

◆インバウンド需要の持ち直しが持続

外需動向をみると、まず、インバウンド需要は、10月の訪日外客数が259.5万人と、前年比+21.5%増加するなど、堅調が持続。為替相場の円安地合いが続くなか、1人当たり消費額も持ち直し。

先行きは、アジア新興国の所得拡大の持続、宿泊施設増加など受け入れ環境整備の進展などから、インバウンド需要は引き続き堅調を維持する見込み。

◆財輸出は緩やかに持ち直し

財輸出では、電子部品・デバイス類の堅調が持続。スマートフォンの高性能化、クラウド化に伴うデータセンター需要の高まりなどを受け、業界団体（世界半導体市場統計、WSTS）の予測が、2017～18年にわたって上方修正されるなど、世界のIT需要は好調。中長期的にみても、IoT、車載関連などの需要拡大にけん引され、電子部品・デバイス類の輸出は増加基調が続く見通し。

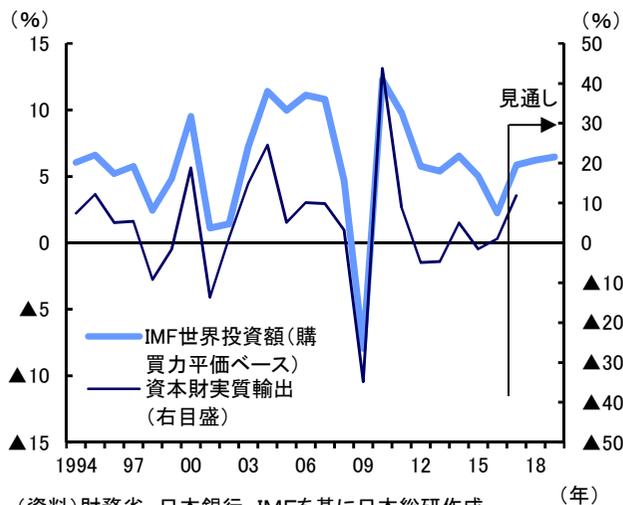
加えて、2014年から16年にかけて世界的に慎重化していた設備投資需要が回復していることを受け、資本財輸出も当面堅調が続く見込み。新興国での製造業の高度化や、世界的な自動化・省力化の流れも、わが国が強みを有する高機能産業機械や産業用ロボットの輸出の追い風に。

訪日外国人旅行消費額と実質実効為替レート



(資料)観光庁、政府観光局、日本銀行

世界投資額と資本財実質輸出(前年比)



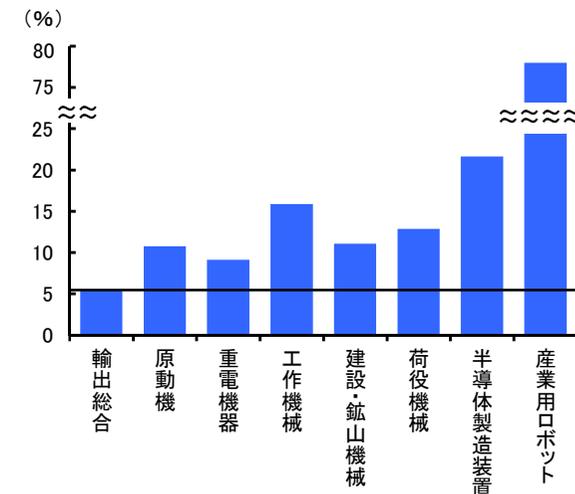
(資料)財務省、日本銀行、IMFを基に日本総研作成
(注)2017年の資本財実質輸出は、1～10月値。

世界半導体出荷額と電子部品デバイス類輸出



(資料)WSTS、財務省、日本銀行を基に日本総研作成
(注)ともに季調値は日本総研作成。凡例<>内は、2016年名目輸出全体(金、再輸出除く、65.1兆円)に占める電子デバイス類のシェア。

品目別の輸出数量(2017年度上期、前年比)



(資料)財務省「貿易統計」を基に日本総研作成

企業収益が改善するなか、設備投資は緩やかに持ち直し

◆企業収益は改善

企業収益は改善傾向が持続。法人企業統計季報によると、7～9月期の売上高（金融業・保険業除く全産業、季調値）は、前期比+0.2%と5四半期連続の増収。経常利益は、同▲1.5%と6四半期ぶりの減益となったものの、利益率は高水準での推移が持続。

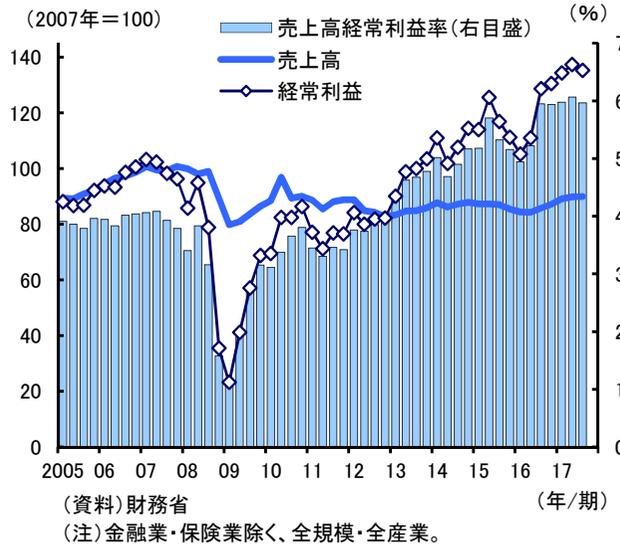
人手不足の深刻化を背景とした人件費の増加が収益下押し要因とはなるものの、これまでの事業再編等の取り組みの結果、損益分岐点比率が大きく低下するなど、企業の収益体質は改善。この結果、売上高の増加がダイレクトに利益押し上げにつながる状況。

先行きも、米国の金融政策正常化に伴う日米金利差拡大などを背景に、緩やかな円安が進むとみられるなか、企業収益は底堅く推移する見込み。

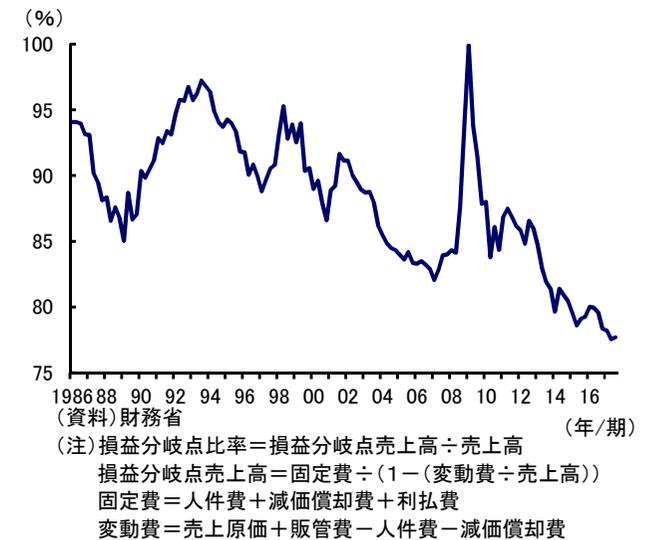
◆設備投資は持ち直しが続く見込み

設備投資は、キャッシュフローが潤沢ななか、人手不足を背景とした合理化・省力化投資、研究開発投資、建設投資を中心に、基調としては持ち直し。もっとも、人口減少下で国内の成長見通しが高まりにくいなか、生産能力を積極的に増強する動きは限定的。機械投資を中心とした製造業の設備投資の力強い回復は期待しにくく、持ち直しペースは緩慢にとどまる見通し。

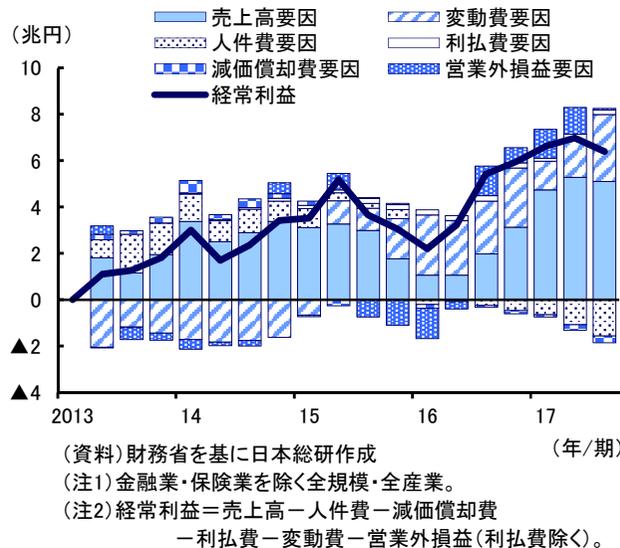
法人企業の売上高と経常利益率（季調値）



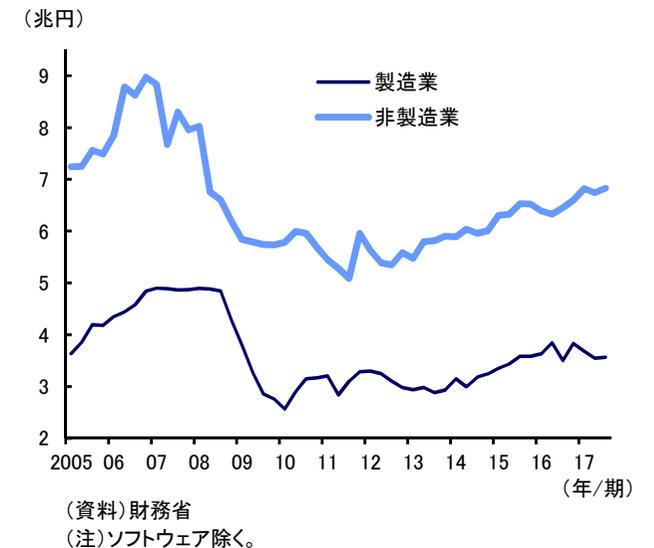
損益分岐点比率



経常利益の要因分解（2013年Q1対比、季調値）



法人企業設備投資額（季調値）



所得の回復は緩慢

◆伸び悩む賃金

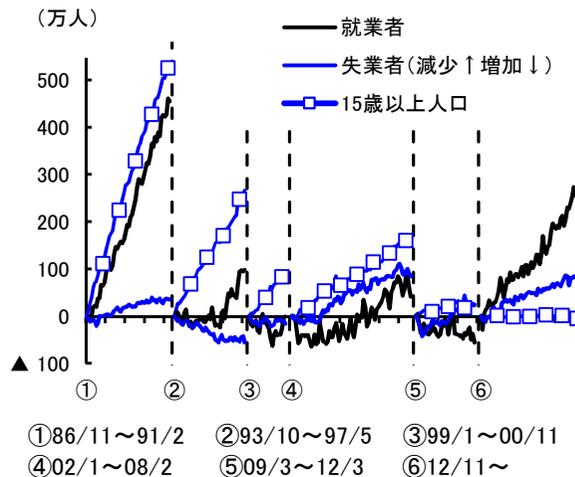
雇用情勢は緩やかな改善傾向。2012年11月以来の今次景気拡大局面では、15歳以上人口が増えないなかでも、就業者数の増加が持続。景気の谷以降の就業者増加は、バブル景気以来のハイペース。短時間労働者が増えているものの、労働投入量も、2014年初以降、フルタイム雇用を中心に増加が持続。

賃金も、人手不足が特に深刻な運輸業、建設業や、転職者を中心に上昇傾向。もっとも、企業規模別にみると、賃金引き上げに動いているのは、賃金水準が相対的に低い中小企業が中心。一方、大手企業では、海外経済の先行き不透明感等が意識され、2017年度の春闘賃上げ率は昨年並みにとどまったうえ、夏季賞与は前年比マイナス。業種別にみても、雇用増加の中心は、宿泊飲食、福祉、卸・小売など賃金水準が相対的に低い業種となっていることもあり、平均賃金は2017年度入り後に伸び悩み。

◆所得の回復は緩慢

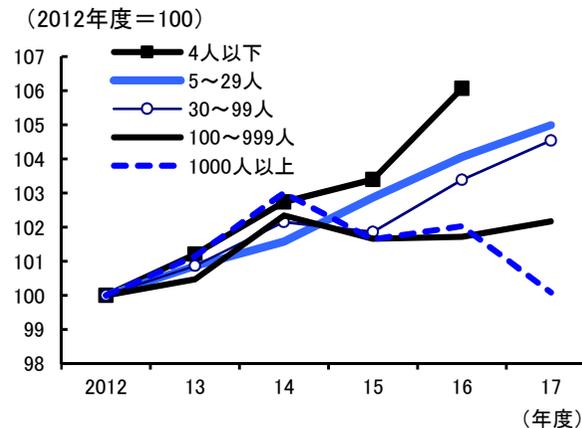
先行きを展望すると、景気の回復基調が維持されるもと、雇用情勢の改善は続く見込み。もっとも、給与の回復ペースは引き続き緩慢。春闘賃上げ率の伸び悩みを背景に、雇用者の所定内給与の改善は今年度いっぱい小幅にとどまる見込み。実質ベースでも、エネルギー価格上昇と円安により、消費者物価が前年比プラスに転じたため、家計の実質購買力に対する下押し圧力が高まる見込み。

景気拡大局面別の人口、就業者数、失業者数



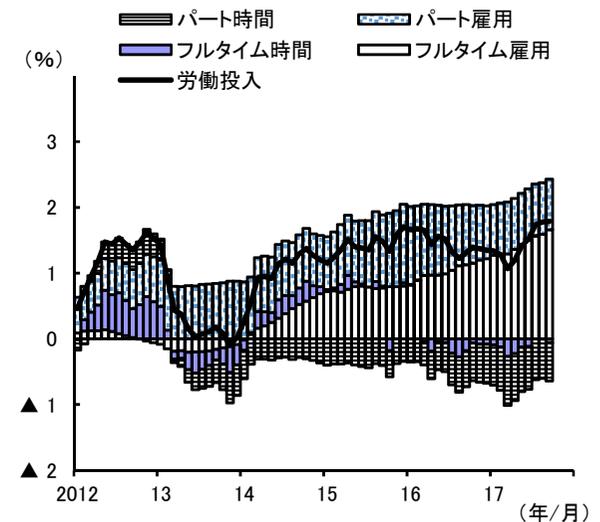
(資料)総務省「労働力調査」
(注)景気の谷以降の変化幅。

フルタイム労働者の現金給与総額



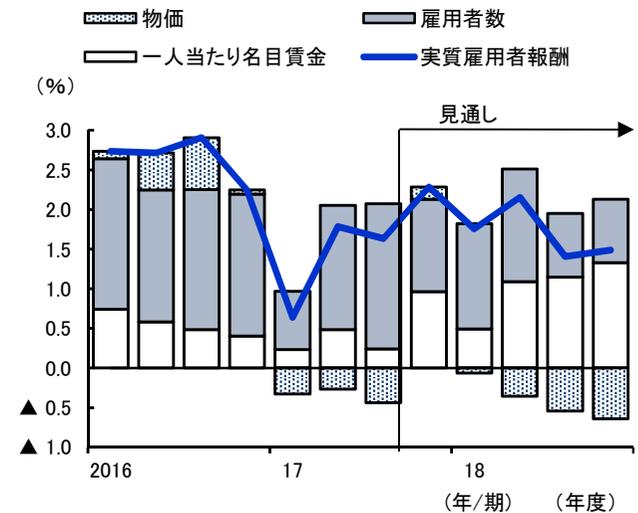
(資料)厚生労働省「毎月勤労統計」
(注1)4人以下は特別調査の7月の月給および7月までの1年間の特別給与からの概算値。
(注2)2017年度は4～9月の前年比伸び率を用いて延長。

労働投入量(前年比)



(資料)厚生労働省「毎月勤労統計」、総務省「労働力調査」

雇用者報酬(前年比)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

個人消費は緩やかに回復

◆個人消費には緩やかな回復基調

10月に2度の台風に見舞われ、秋雨前線も停滞するなど、天候要因から消費はレジャーなどを中心にやや下振れ。乗用車についても、不正検査問題が下押し要因に。もっとも、いずれも一時的な落ち込みにとどまる見込み。

雇用所得環境の改善と、消費者マインドの持ち直しが続いているほか、足許の株価上昇も資産効果を通じた消費押し上げに作用するなかで、消費の緩やかな回復基調は持続。耐久財消費では、2009年以降の消費支援策や2014年の消費増税前の駆け込み需要の反動減がようやく一巡し、徐々に買い替え需要が顕在化。

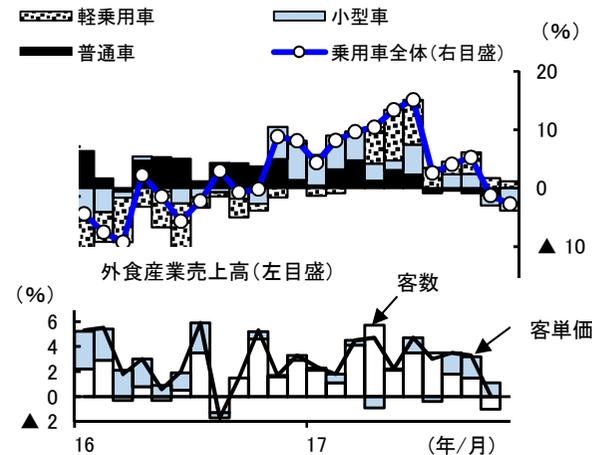
◆引き続き緩慢な消費回復

先行きを展望すると、雇用情勢の改善持続が、消費押し上げに作用する見込み。もっとも、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加が、可処分所得の重石となるため、消費の増加ペースは緩やかにとどまる見込み。

若年層を中心に消費性向の低下が持続。この背景には、消費拡大をけん引するような新商品の不在や、将来不安等を背景とした節約志向。加えて、低金利が続くもとで、住宅購入に動く世帯の割合が高まっており、ローン返済負担の増大が消費を下押ししている側面も。

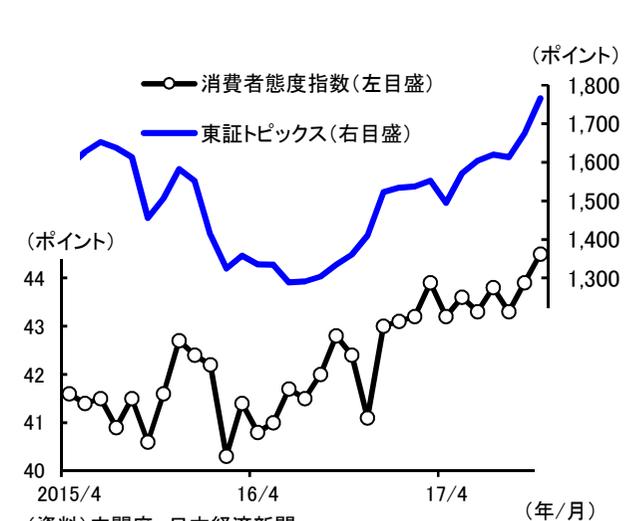
また、消費市場全体の半分近くを占める世帯主60歳以上の世帯では、価格が上昇している食品やエネルギーなどの支出ウェイトが高いため、購買力が押し下げられる見込み。

乗用車販売と外食産業売上高(前年比)



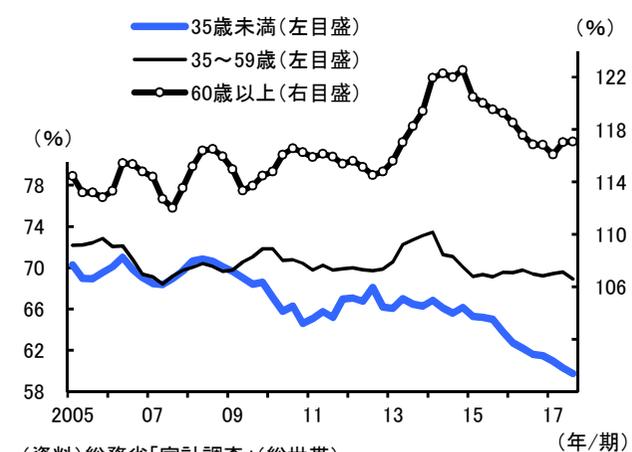
(資料)日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本フードサービス協会を基に日本総研作成
(注)棒グラフは変化の内訳。

消費者マインドと株価



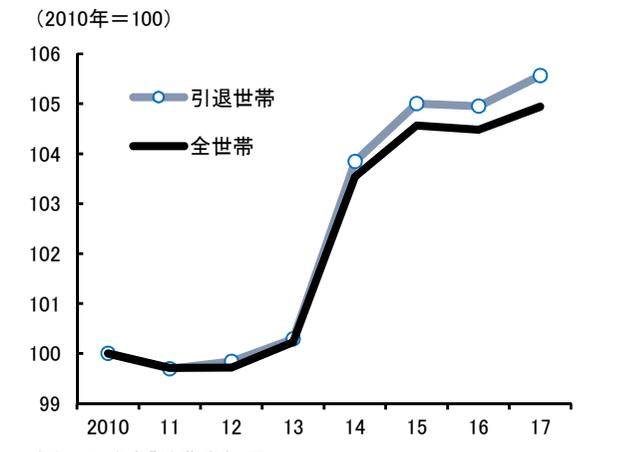
(資料)内閣府、日本経済新聞

世帯主年齢階層別の消費性向(総世帯)



(資料)総務省「家計調査」(総世帯)
(注1)勤労者世帯。60歳以上は二人以上の無職世帯と勤労者世帯の加重平均。
(注2)後方4期移動平均。

引退世帯の消費者物価



(資料)総務省「消費者物価」
(注1)引退世帯は世帯主60歳以上の無職世帯。
(注2)2017年は1~10月平均。

トピックス：2019年の消費増税による消費下振れは限定的

◆2014年の増税時は6.5兆円の家計負担

2014年の家計負担は、消費増税による5.1兆円のほか、所得増税や年金、健康保険の保険料率引き上げ、年金受給額の引き下げにより、1.4兆円発生（計6.5兆円）。こうした負担増加が名目所得の増加を大きく上回ったため、実質ベースでみた可処分所得が2.8兆円減少し、個人消費は過去のトレンドから大きく下方にシフト。さらに、2015年度も、所得税、社会保障関連で引き続き1.3兆円の家計負担が発生し、実質可処分所得の回復が1.1兆円と緩やかにとどまった結果、その後の個人消費の持ち直しが緩慢に。

◆2019年の家計負担は2014年の半分程度

2019年の家計負担は、2014年に比べて消費税率の引き上げ幅が小さく（14年4月：5%→8%、19年10月：8%→10%）、軽減税率の導入も予定されているほか、所得税や社会保障関連でも大きな負担増が予定されていないため、2014年の半分程度（3.3兆円）にとどまる見込み。一方、家計所得の伸びは、企業収益の増加や人手不足を背景に、2014年をやや上回ると予想。そのため、予定通り消費増税が実施されても、実質可処分所得はプラスを維持する見通し。さらに、エコポイント制度などにより販売が上振れしたテレビなどの家電製品が、買い替え時期を迎えることも、個人消費の下支えに作用。個人消費の大幅な下方シフトは避けられ、その後もスムーズにトレンド並みの成長率に復帰していく見通し。

前回消費増税前後の主な家計負担の増加

項目	実施時期等
給与所得控除に上限を設定	2013年1月 (住民税は2014年度から)
上場株式等に係る配当等の軽減税率廃止	2014年1月
所得税の最高税率の引き上げ	2015年1月
相続税の基礎控除の縮小・高額相続の税率引き上げ	2015年1月
厚生年金・公務員共済の保険料率の引き上げ	2013、14、15年度ともに0.354%引き上げ
国民年金の保険料の引き上げ	2013、14、15年度ともに引き上げ
組合健保の保険料率の引き上げ	2013、14、15年度にそれぞれ、40%、27%、22%の組合が実施
特例水準の解消を目的とした年金受給額の引き下げ	2013年10月、14年4月、15年4月
マクロ経済スライドによる年金受給額の抑制	2015年度

(資料)日本総研作成

消費増税後の家計の実質所得の変化

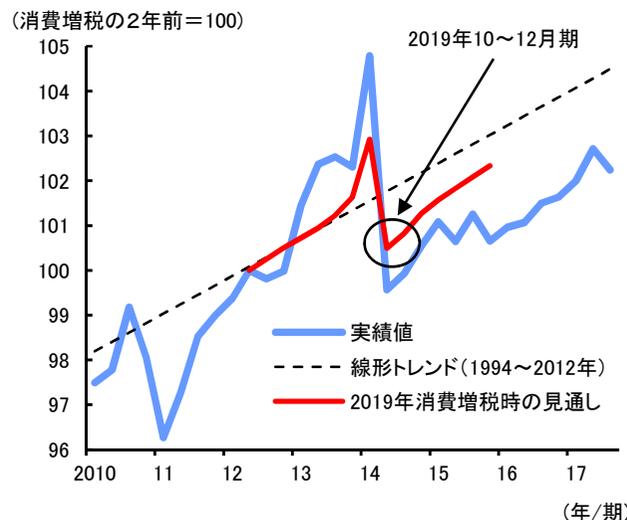
	(兆円)		
	2014年の消費増税時	2019年	
	2014年度 (前年差)	2015年度 (前年差)	2019年10月から 1年間(前年差)
名目所得	+3.3	+2.7	+4.1
消費税	▲5.1	±0	▲2.8
所得税・社会保障 関連の負担増	▲1.4	▲1.3	▲0.5
消費税対策の給付金	+0.4	▲0.2	
合計	▲2.8	+1.1	+0.8

(資料)内閣府などを基に日本総研作成

(注1) 名目所得は賃金・俸給。消費税は、消費税率の引き上げが個人消費デフレーターに与えた影響を推計することで、消費増税の家計負担分を推計。消費税対策の給付金は、簡素な給付措置と子育て世帯臨時給付金の合計(事業費ベース)。

(注2) 2019年の消費増税時の名目所得は、日本総研の見通し。所得税・社会保障関連の負担増は、組合健保の保険料率上昇とマクロ経済スライドによる年金給付の抑制を想定。

実質個人消費とトレンド



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

雇用者所得の見通し(前年度比)



(資料)内閣府、総務省を基に日本総研作成

底堅い内外需を背景に、緩やかな回復基調が続く見通し

◆潜在成長率を上回る成長が持続

わが国景気の先行きを展望すると、当面は、経済対策効果の一巡に伴う公共投資の減少が景気を下押しするものの、国内民需は底堅く推移する見込み。設備投資は、都心部の再開発や宿泊施設、物流施設の新設といった建設投資に加え、製造業を中心とした研究開発投資の増加を背景に、プラス基調が続くとみられるほか、個人消費も、雇用所得環境の改善や、株価の上昇などに伴う消費者マインドの持ち直しが下支えに作用。外需も、世界的な設備投資意欲の改善などを背景に、輸出の増加基調が続く見込み。

結果として、2017年度および2018年度は、内外需ともに底堅く推移することで、1%程度とみられる潜在成長率をやや上回る成長が続く見通し。

◆2019年度も1%近い成長を維持

2019年度は、10月に予定されている消費増税に伴う購買力の低下が個人消費を下押しすることで、成長率は鈍化。もつとも、今回の消費増税は、2014年と比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、所得税・社会保障関連の負担増も小さいことから、個人消費の大幅な落ち込みは回避される見通し。結果として、1%近い成長は維持できる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2017年12月1日時点)

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	2017年		2018年				2019年				2020年	2016年度			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
	(実績)	(予測)										(実績)	(予測)		
実質GDP	1.4	0.8	0.9	1.1	1.3	1.3	1.4	1.4	2.5	▲3.7	1.3	1.3	1.5	1.2	0.9
個人消費	▲1.8	0.7	1.0	1.0	0.9	0.9	1.1	1.6	5.2	▲9.1	1.3	0.7	0.9	0.8	0.6
住宅投資	▲3.5	▲3.2	▲0.4	▲0.2	0.8	3.2	6.4	1.9	▲3.1	▲9.8	▲7.2	6.6	1.5	0.2	▲0.3
設備投資	1.0	2.4	2.8	3.0	3.0	2.9	2.8	2.6	2.6	2.4	2.4	2.5	2.4	2.8	2.7
在庫投資 (寄与度)	(1.0)	(0.3)	(▲0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.5)	(0.3)	(0.3)	(▲0.4)	(▲0.1)	(0.1)	(▲0.1)
政府消費	▲0.5	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.4	0.7	0.7	0.8
公共投資	▲9.7	▲6.2	▲2.2	▲1.8	1.6	1.2	▲1.2	▲0.6	0.2	0.5	0.3	▲3.2	1.5	▲1.6	▲0.0
純輸出 (寄与度)	(2.0)	(0.1)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(▲0.4)	(1.1)	(▲0.0)	(0.8)	(0.5)	(0.2)	(0.1)
輸出	6.0	3.0	2.4	2.6	2.9	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	3.2	4.9	3.0	2.8
輸入	▲6.2	2.7	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.7	5.3	▲3.2	2.8	▲1.3	2.3	1.9	2.3

名目GDP	1.7	1.6	2.1	1.8	1.7	1.7	1.9	2.0	2.4	1.6	1.7	1.1	1.6	1.8	1.9
GDPデフレーター	0.1	0.1	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.8	1.3	1.3	▲0.2	0.1	0.6	1.0
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	2.0	2.1	▲0.2	0.7	0.8	1.5
(除く生鮮、消費税)	0.6	0.8	0.7	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.9	1.1	1.1	▲0.2	0.7	0.8	1.0
鉱工業生産	4.1	4.1	3.0	1.3	0.8	0.7	0.8	0.8	0.6	0.8	0.6	1.1	4.2	0.9	0.7

完全失業率 (%)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	3.0	2.8	2.7	2.6
経常収支 (兆円)	6.97	3.71	5.76	4.41	7.28	3.95	7.21	4.78	7.80	4.10	7.70	20.38	21.01	22.84	24.38
対名目GDP比 (%)	5.2	2.6	4.2	3.2	5.4	2.7	5.2	3.4	5.6	2.8	5.4	3.8	3.8	4.1	4.3
円ドル相場 (円/ドル)	111	113	113	114	114	115	115	116	116	115	115	108	112	115	116
原油輸入価格 (ドル/バレル)	50	59	61	61	61	62	62	63	63	63	63	47	56	61	63

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注)2017年12月1日公表の2017年7~9月期2次QE予測は反映せず。

海外経済の前提

(前年比、%)

	2017年	2018年	2019年
	(予測)		
米国	2.3	2.4	2.0
ユーロ圏	2.3	1.8	1.7
中国	6.8	6.4	6.3

過去の実質GDP予測値

(前年比、%)

	2017年度	2018年度	2019年度
	(予測)		
9月号	1.9	1.1	
10月号	1.5	1.1	
11月号	1.5	1.1	

物価は前年比+1%近傍で推移、長期金利はゼロ%近辺で推移

◆物価は上昇局面へ

コアCPIは、1月に前年比プラスに転じた後、プラス幅が拡大。外国パック旅行は前年同月の大幅上昇の反動で下落したものの、エネルギー価格の上昇が全体を押し上げ。

先行きは、エネルギー価格の騰勢が鈍化するものの、マクロ的な需給環境の改善などを背景に、前年比+1%近傍の推移が続く見通し。

◆短期金利は現行水準を維持

日銀は、10月の金融政策決定会合で、物価見通しを下方修正したものの、基本的なシナリオは堅持。現状の金融政策は維持され、10年物国債金利をゼロ%程度とする現行政策のもとで、影響・効果を見極める姿勢。

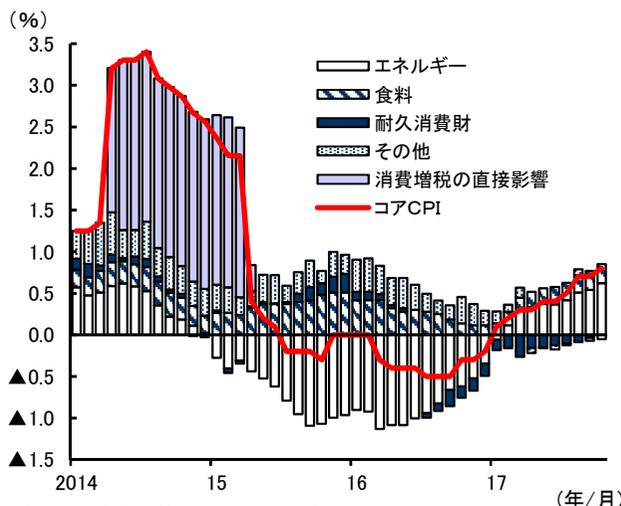
政策金利については、当面、現行水準(▲0.1%)を維持する見込み。

◆長期金利は概ねゼロ%程度で推移

長期金利は、米国における低金利の長期化観測や来年度の超長期国債発行額の減額見通し等を受け、幾分低下。

先行きを展望すると、米国長期金利の上昇に伴い上振れ圧力が高まるものの、日銀のイールドカーブ・コントロール政策のもと、0%近辺での推移が続く見通し。

コアCPI(前年比)



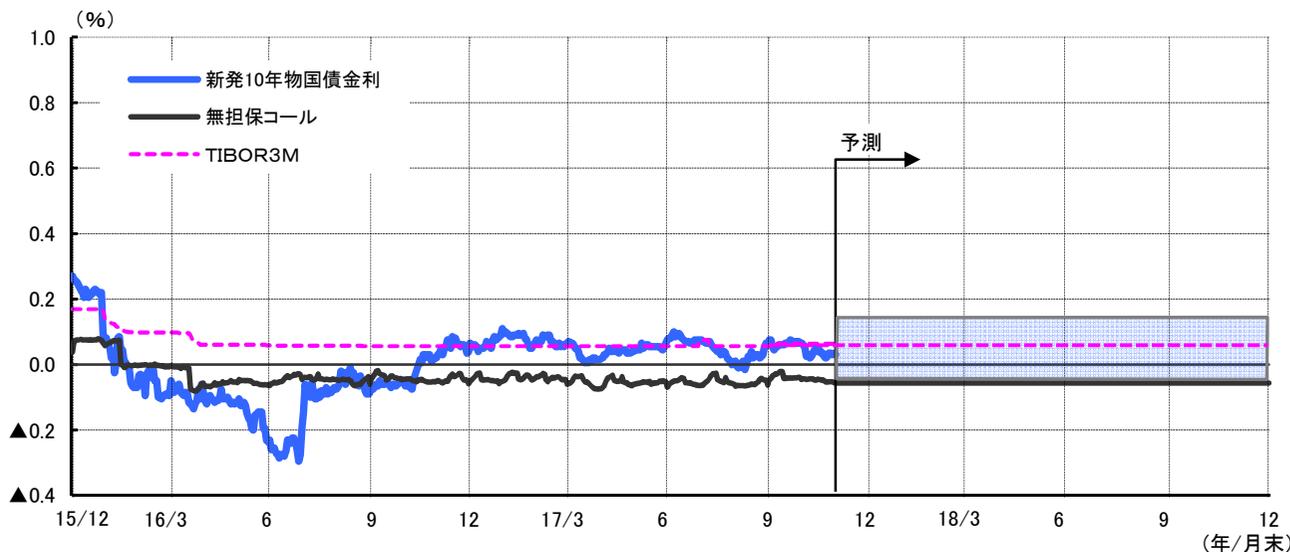
(資料)総務省を基に日本総研作成
(注)エネルギー、食料、耐久消費財などは消費税の影響を除く。

CPIと時間当たり賃金(前年比)



(資料)総務省、厚生労働省を基に日本総研作成
(注1)時間当たり賃金=現金給与総額指数/総実労働時間指数。
(注2)CPIは消費税の影響を除いた計数。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/ユーロ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	FF 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.12	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.12	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.12	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.97	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.37	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18
16/5	▲ 0.05	0.06	0.11	▲ 0.12	▲ 0.08	0.10	▲ 0.24	▲ 0.11	1.48	0.95	109.00	123.13	16612.67	1334.43	0.37	0.64	1.80	17692.32	▲ 0.26	0.16
16/6	▲ 0.04	0.06	0.11	▲ 0.14	▲ 0.13	0.01	▲ 0.26	▲ 0.15	1.48	0.95	105.46	118.55	16068.81	1288.83	0.38	0.65	1.64	17754.87	▲ 0.27	0.01
16/7	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.15	▲ 0.18	▲ 0.07	▲ 0.33	▲ 0.25	1.48	0.91	104.09	115.17	16168.32	1291.30	0.39	0.70	1.49	18341.18	▲ 0.30	▲ 0.09
16/8	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.06	▲ 0.05	0.07	▲ 0.19	▲ 0.08	1.48	0.94	101.31	113.51	16586.07	1303.93	0.40	0.81	1.56	18495.19	▲ 0.30	▲ 0.07
16/9	▲ 0.05	0.06	0.10	▲ 0.09	▲ 0.07	0.08	▲ 0.23	▲ 0.04	1.48	0.95	101.83	114.18	16737.04	1334.42	0.40	0.85	1.62	18267.40	▲ 0.30	▲ 0.05
16/10	▲ 0.04	0.06	0.10	▲ 0.05	▲ 0.05	0.08	▲ 0.26	▲ 0.06	1.48	0.95	103.85	114.48	17044.51	1360.45	0.40	0.88	1.75	18184.55	▲ 0.31	0.04
16/11	▲ 0.04	0.06	0.10	0.00	0.03	0.14	▲ 0.20	▲ 0.01	1.48	0.95	108.63	117.09	17689.54	1409.47	0.41	0.91	2.15	18697.33	▲ 0.31	0.24
16/12	▲ 0.04	0.06	0.10	0.04	0.09	0.24	▲ 0.18	0.06	1.48	0.95	116.12	122.35	19066.03	1522.68	0.54	0.98	2.49	19712.42	▲ 0.32	0.29
17/1	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.22	0.06	1.48	0.95	114.92	122.17	19194.06	1534.42	0.65	1.03	2.43	19908.15	▲ 0.33	0.35
17/2	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.11	0.28	▲ 0.23	0.09	1.48	0.95	112.99	120.23	19188.73	1537.60	0.66	1.04	2.42	20424.14	▲ 0.33	0.32
17/3	▲ 0.04	0.06	0.10	0.05	0.10	0.26	▲ 0.26	0.07	1.48	0.95	112.92	120.67	19340.18	1552.10	0.79	1.13	2.48	20823.06	▲ 0.33	0.39
17/4	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.07	0.23	▲ 0.21	0.03	1.48	0.95	110.04	117.93	18736.39	1494.81	0.90	1.16	2.29	20684.69	▲ 0.33	0.25
17/5	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.08	0.24	▲ 0.17	0.04	1.48	0.95	112.24	124.09	19726.76	1571.62	0.91	1.19	2.30	20936.81	▲ 0.33	0.38
17/6	▲ 0.05	0.06	0.10	0.04	0.10	0.24	▲ 0.12	0.06	1.48	0.95	110.97	124.70	20045.63	1603.77	1.04	1.26	2.18	21317.80	▲ 0.33	0.29
17/7	▲ 0.05	0.06	0.10	0.05	0.12	0.27	▲ 0.11	0.08	1.48	0.99	112.38	129.59	20044.86	1620.17	1.15	1.31	2.31	21581.25	▲ 0.33	0.54
17/8	▲ 0.05	0.06	0.10	0.03	0.08	0.23	▲ 0.12	0.05	1.48	1.00	109.84	129.81	19670.17	1612.95	1.16	1.31	2.20	21914.08	▲ 0.33	0.42
17/9	▲ 0.06	0.06	0.10	0.02	0.08	0.22	▲ 0.13	0.03	1.48	1.00	110.81	131.93	19924.40	1638.79	1.15	1.32	2.20	22173.41	▲ 0.33	0.41
17/10	▲ 0.04	0.06	0.09	0.04	0.11	0.26	▲ 0.14	0.07	1.48	1.00	112.93	132.75	21267.49	1721.72	1.15	1.36	2.36	23036.24	▲ 0.33	0.43
17/11	▲ 0.05	0.06	0.09	0.03	0.10	0.25	▲ 0.18	0.04	1.48	1.00	112.82	132.48	22525.15	1783.26	1.15	1.43	2.35	23557.93	▲ 0.33	0.36